

平成 2 1 年第 4 回与論町議会臨時会

与論町議会会議録

平成 2 1 年 1 0 月 2 3 日

与 論 町 議 会

平成 2 1 年第 4 回与論町議会臨時会

第 1 日

平成 2 1 年 1 0 月 2 3 日

平成 2 1 年第 4 回与論町議会臨時会会議録
平成 2 1 年 1 0 月 2 3 日（金曜日）午後 3 時 2 0 分開会

1 議事日程（第 1 号）

開議の宣告

第 1 会議録署名議員の指名

第 2 会期の決定

第 3 議案第 4 6 号 平成 2 1 年度与論町一般会計補正予算（第 5 号）

第 4 議案第 4 7 号 平成 2 1 年度与論町と畜場特別会計補正予算（第 1 号）

第 5 議案第 4 8 号 業務委託契約の変更について（与論町地域情報通信基盤整備推進交付金事業）

第 6 承認第 3 号 専決処分の承認を求めることについて（平成 1 8 年（ワ）第 2 7 5 号境界確定等請求事件の和解について）

2 出席議員（12 人）

1 番 川 村 武 俊 君
3 番 供 利 泰 伸 君
5 番 喜 山 康 三 君
7 番 坂 元 克 英 君
9 番 野 口 靖 夫 君
1 1 番 大 田 英 勝 君

2 番 林 隆 寿 君
4 番 福 地 元一郎 君
6 番 本 畑 敏 雄 君
8 番 喜 村 政 吉 君
1 0 番 麓 才 良 君
1 2 番 町 田 末 吉 君

3 欠席議員（0 人）

欠員（0 人）

4 地方自治法第 1 2 1 条の規定により、説明のため議場に出席した者の職氏名（4 人）

町 長 南 政 吾 君	総務企画課長 元 井 勝 彦 君
建設課長 高 田 豊 繁 君	総務企画課主事 堀 田 哲 也 君

5 職務のため出席した事務局職員（2 人）

事務局 長 川 畑 義 谷 君	書 記 林 孝 徳 君
-----------------	-------------

開会 午後 3 時 2 0 分

議長（町田末吉君） ただいまから、平成 2 1 年第 4 回与論町議会臨時会を開会します。

これから、本日の会議を開きます。

日程第 1 会議録署名議員の指名

議長（町田末吉君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、1 番川村武俊君、6 番本畑敏雄君を、指名します。

日程第 2 会期の決定

議長（町田末吉君） 日程第 2、会期決定についてを議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日 1 日としたいと思います。

御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（町田末吉君） 異議なしと認めます。

したがって、会期は本日 1 日と決定しました。

日程第 3 議案第 4 6 号 平成 2 1 年度与論町一般会計補正予算（第 5 号）

議長（町田末吉君） 日程第 3、議案第 4 6 号、平成 2 1 年度与論町一般会計補正予算（第 5 号）を、議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。町長。

町長（南 政吾君） 議案第 4 6 号、平成 2 1 年度与論町一般会計補正予算（第 5 号）について提案理由を申し上げます。

補正予算の歳入につきましては諸収入 3, 6 5 0 万円、地方交付税 9 5 7 万 5 千円、ヨロン島サンゴ礁基金繰入金 3 0 万円が増額となっております。次に、歳出予算の主な内容といたしましては、地域活性化・経済危機対策費 8 0 0 万円、と畜場特別会計繰出金 1 4 5 万円、道路橋梁総務費 2, 0 4 7 万 7 千円、庁舎建設基金費 1, 5 5 9 万 3 千円が増額となっており、歳入歳出予算にそれぞれ 4, 6 3 7 万 5 千円を追加し、予算総額 3 9 億 8 6 7 万 8 千円となっております。

御審議され、議決していただきますようお願い申し上げ、提案理由の説明といたします。

議長（町田末吉君） 提案理由の説明は終わりました。

これから、質疑を行います。

議長（町田末吉君） 7 番。

7 番（坂元克英君） 今、一般会計補正予算を提示されましたけれども、そして、その説明をいただきました。その中で今回の補正収入で、諸収入が主な予算がありますが、雑入で建物等移転補償料として、3, 6 5 0 万円を歳入されておりますが、まず、第 1 点として、この建物を移転しなければならない理由を町長にお伺いしたいと思います。

議長（町田末吉君） 総務企画課長。

総務企画課長（元井勝彦君） お答えします。特定交通安全施設等整備事業（与論島循環線）が今度通りまして、その関係でそこにあります農協の倉庫と、それから乾藪場等々の移転が必要となりまして、この金額を計上しております。その補償費でございます。お願いいたします。

議長（町田末吉君） これで、質疑を終わります。

議長（町田末吉君） お諮りします。議案第４６号は、会議規則第３９条第２項の規定によって、委員会付託を省略したいと思います。

御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（町田末吉君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第４６号については、委員会付託を省略することに決定しました。

これから、討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（町田末吉君） 討論なしと認めます。

これから、議案第４６号、平成２１年度与論町一般会計補正予算（第５号）を、採決します。

お諮りします。本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（町田末吉君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第４６号、平成２１年度与論町一般会計補正予算（第５号）は、原案のとおり可決されました。

日程第４ 議案第４７号 平成２１年度与論町と畜場特別会計補正予算（第１号）

議長（町田末吉君） 日程第４、議案第４７号、平成２１年度与論町と畜場特別会計補正予算（第１号）を、議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。町長。

町長（南 政吾君） 議案第４７号、平成２１年度与論町と畜場特別会計補正予算（第１号）について、提案理由を申し上げます。

補正予算の歳入につきましては、一般会計からの繰入金１４５万円、歳出総務費と畜場用蒸気ボイラー備品購入費として、１４５万円を計上しております。

御審議され、議決していただきますようお願い申し上げ、提案理由の説明といたします。

議長（町田末吉君） 提案理由の説明は終わりました。

これから、質疑を行います。

議長（町田末吉君） これで、質疑を終わります。

お諮りします。議案第４７号は、会議規則第３９条第２項の規定によって、委員会付託を省略したいと思います。

御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（町田末吉君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第４７号については、委員会付託を省略することに決定しました。

これから、討論を行います。

[「なし」と呼ぶ者あり]

議長（町田末吉君） 討論なしと認めます。

これから、議案第４７号、平成２１年度与論町と畜場特別会計補正予算（第１号）を、採決します。

お諮りします。本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

議長（町田末吉君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第４７号、平成２１年度与論町と畜場特別会計補正予算（第１号）は、原案のとおり可決されました。

日程第５ 議案第４８号 業務委託契約の変更について（与論町地域情報通信基盤整備推進交付金事業）

議長（町田末吉君） 日程第５、議案第４８号、業務委託契約の変更について（与論町地域情報通信基盤整備推進交付金事業）を、議題とします。

本件について、提案理由の説明を求めます。町長。

町長（南 政吾君） 議案第４８号、業務委託契約の変更について（与論町地域情報通信基盤整備推進交付金事業）について、提案理由を申し上げます。

与論町地域情報通信基盤整備推進交付金事業に係わる光ファイバーケーブル敷設工事の施工に当たり、加入申込者の追加等による宅内引込工事等の変更に伴う工程見直しと、電柱添架申請における不許可等によるルート変更が生じ、これに伴う基本設計の見直しによる工事費の増額について、変更契約を締結するものであります。

御審議され、議決していただきますようお願い申し上げ、提案理由の説明といたします。

議長（町田末吉君） 提案理由の説明は終わりました。

これから、質疑を行います。

議長（町田末吉君） ５番。

５番（喜山康三君） 契約金額の増加ということで、加入者が多いということで、非常にいいことではないかと思えますけれど。これで、何件くらいの加入見込みになっておりますでしょうか。

議長（町田末吉君） 総務企画課長。

総務企画課長（元井勝彦君） お答えします。一般家庭がですね、これが、７６６件です。それと町営住宅の方が７８件。それから県営住宅、高校の住宅でございますが、それが、２３件等々でございます。合計して８７０件ぐらいですかね、となっております。

議長（町田末吉君） ５番。

５番（喜山康三君） この金額増加によって何件の増加が見込まれたか、ということですけど。当初計画から金額が伸びていますよね。その伸びた分で何件加入者が増えたかということですけど。

総務企画課長（元井勝彦君） 当初７５０件を見込んでおりましたので、１２０件です。

議長（町田末吉君） これで、質疑を終わります。

お諮りします。議案第４８号は、会議規則第３９条第２項の規定によって、委員会付託を省略したいと思います。

御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（町田末吉君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第４８号については、委員会付託を省略することに決定しました。

これから、討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（町田末吉君） 討論なしと認めます。

これから、議案第４８号、業務委託契約の変更について（与論町地域情報通信基盤整備推進交付金事業）を、採決します。

お諮りします。本件は、可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（町田末吉君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第４８号、業務委託契約の変更について（与論町地域情報通信基盤整備推進交付金事業）は、可決されました。

日程第６ 承認第３号 専決処分の承認を求めることについて（平成１８年（ワ）第２７５号境界確定等請求事件の和解について）

議長（町田末吉君） 日程第６、承認第３号、専決処分の承認を求めることについて（平成１８年（ワ）第２７５号境界確定等請求事件の和解について）を、議題とします。

本件について、提案理由の説明を求めます。町長。

町長（南 政吾君） 承認第３号、専決処分の承認を求めることについて（平成１８年（ワ）第２７５号境界確定等請求事件の和解について）、提案理由を申し上げます。

平成１８年（ワ）第２７５号境界確定等請求事件につきましては、和解による解決を図ることとし、地方自治法第１７９条第１項の規定により、専決処分いたしましたので、議会の承認をお願いするものであります。

御審議され、承認していただきますようお願い申し上げ、提案理由の説明といたします。

議長（町田末吉君） 提案理由の説明は終わりました。

これから、質疑を行います。

議長（町田末吉君） ５番。

５番（喜山康三君） 今回のこの事件については、和解ということで全協の方でも説明を受けたのですが、和解に至った理由について御説明をお願いします。

議長（町田末吉君） 町長。

町長（南 政吾君） 和解に至った経緯については、非常に紆余曲折あったわけですが、和解をしようという理由について申し上げたいと思います。

実は、町当局が裁判に控訴されまして、筆界の問題について筆界を求めということで控訴されたわけですが、私どもとしては、被告という立場で裁判を、和田弁護士事務所の蓑毛先生をお願いして、対応してきたわけであ

ります。その経緯の中で、筆界の確定についての訴訟は、両方の原告及び被告の言い分の証拠が無いと、認められる部分が非常に少ないということで、裁判で取り上げるのは非常に困難であるということで裁判所の方から却下されたわけであります。その結果、今度は所有権の問題で告訴されたわけでありすけれども、そのことについては所有権の確定までは、判決までは至っていないときに和解をしたという結果になるわけでありすけれども、仮に被告、町当局が所有権の勝訴をしたということになった場合を想定して考えても、前の事例と同じように、観光ホテルの前の土地でございますが、勝訴しても登記ができないということで、筆界までやらないと、判決をもらわないとできないということで、じゃあ、登記をするにはどうしたらいいかということでいろいろ弁護士先生にも聞いたり、裁判所の方にも聞いていただいたりしたわけですが、和解しかないということで、結局和解によって登記をしたいということで、途中から交渉を変更し、今までの交渉とは違った角度からの交渉をしたわけでありす。その結果、基本的に主張している部分の半分、喧嘩両成敗ということで、半々ということで決着をつけることができたわけでありす。その他にもいろいろと問題が提起されたわけでありすけれども、その件については全部お断りをして、そのことは受けるわけにいかないと町の言い分を押し通して、半々ということで和解をしたわけです。以上です。

議長（町田末吉君） 5番。

5番（喜山康三君） それから、当局からいただいた文書の中に、3番に「乙は甲に対し、本件紛争の解決金として金40万円の支払い義務があることを認めている」とありますが、これは、どのような根拠でこの40万円という金額があつて、どういうことでこれを認めたか、その理由について説明をお願いします。

議長（町田末吉君） 町長。

町長（南 政吾君） 実は、基本的に半々ということでやったわけでありす。地形等の関係もございまして、若干相手側の方が多くなっているわけです。それを単価で、税法上の単価よりはちょっと高いわけでありす。税の対象としている地価よりは高いわけでありすけれども、相手の方が多かった分を土地代という形で40万円で決着をつけたわけでありす。文章の中で土地代というのが使えないということで、土地代であっても和解金という名目でしか使えないということでありまして、和解金という名目で載せてあるわけです。以上です。

議長（町田末吉君） 5番。

5番（喜山康三君） これは、あくまでも訴訟という形で進められることですね、町長の今の40万円の件に関しましても、土地の分をこの計算でお支払いすることにしたいということになっておりますが、これではですね、非常に不明瞭というんですか。公明性がないと、きちとした形にするべきじゃないかということと、これを土地の価格で算出されたということですが、ならば平方メートル当たりいくらの金額で算出されたのか、また金額は今、税ということをおっしゃっていますけれど、工事価格ですか、工事価格でされたんじゃないかと思いますが。普通、これはやっぱり常識的に商取引というか、普通の一般常識の取引範囲の価格で算定されるべきものであって、この辺の金額についても少し問題があるんじゃないかと思ひますけれど、いかがですか。

議長（町田末吉君） 総務企画課長。

総務企画課長（元井勝彦君） 当初ですね、この金額につきましては、双方でいろいろ弁護士を通してやってまいりました。最終的にはですね、固定資産税の評価ベースが約7,500円程度でございます。平方メートル当たりですね。それを3割増し程度でということで、1万円ということで、弁護士を通した交渉でこの金額になった次第でございます。当初金額につきましては双方で交渉したところでございますが、この時点で妥協したということです。

議長（町田末吉君） 5番。

5番（喜山康三君） 和解に至った理由とかですね、金額について町長から説明があったわけですが、今までの町と原告との折衝ではですね、いろいろ今まで町長から説明も受けましたけれど、町民や字民の感情としてはですね、これは到底受け入れられないと、私は判断します。是非再度御検討というんですか、新たな形でしないと町有財産をどういう形で保全するか、守っていくかということ考えた場合、このような決着の仕方は将来に対して禍根を残すんじゃないかということを言って、私の質問を終わります。

議長（町田末吉君） これで、質疑を終わります。

お諮りします。承認第3号は、会議規則第39条第2項の規定によって、委員会付託を省略したいと思います。

御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（町田末吉君） 異議なしと認めます。

したがって、承認第3号については、委員会付託を省略することに決定しました。

これから、討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（町田末吉君） 討論なしと認めます。

これから、承認第3号、専決処分の承認を求めることについて（平成18年（ワ）第275号境界確定等請求事件の和解について）を、採決します。

この採決は起立によって採決します。

賛成の方の起立をお願いします。

議長（町田末吉君） 起立多数です。

したがって、承認第3号、専決処分の承認を求めることについて（平成18年（ワ）第275号境界確定等請求事件の和解について）は、承認することに決定しました。

議長（町田末吉君） 以上で本日の日程は、全部終了しました。

会議を閉じます。

平成21年第4回与論町議会臨時会を閉会します。

御苦労様でした。

閉会 午後3時42分

地方自治法第 1 2 3 条第 2 項の規定により、ここに署名する。

与論町議会議長

与論町議会議員

与論町議会議員